

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	産後ケア事業に携わる助産師を対象とした研修プログラムの実施と評価
作成者（著者）	原田, 慶子
公開者	東邦大学
発行日	2024.03
掲載情報	東邦大学大学院看護学研究科 博士論文 内容の要旨及び審査結果の要旨.
資料種別	学位論文
内容記述	主査：岸恵美子 / タイトル：産後ケア事業に携わる助産師を対象とした研修プログラムの実施と評価 / 著者：原田慶子 /
著者版フラグ	none
報告番号	32661甲第1122号
学位授与年月日	2024.03.13
学位授与機関	東邦大学
メタデータのURL	https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD28229630

審査報告書

学籍番号 : ND15003 氏名 : 原田 慶子
論文題目 : 産後ケア事業に携わる助産師を対象とした研修プログラムの実施と評価
審査日時 : 2024年2月7日(水) 14:40~16:00
審査場所 : 401 セミナー室
審査員 : 主査 岸 恵美子 副査 村上 好恵、富岡 由美、福島富士子

研究の背景として、産後入院の短縮化や出産年齢の高齢化により、産後の母子への支援の必要性が高まっていることや、産後ケア事業が始まっていることから、助産師がこれまでに培った専門性を活かし、地域で貢献できるための新たな研修プログラムを作成することの必要性が文献検討より述べられた。本研究の目的は、『産後ケアに携わる助産師を対象とした研修プログラム』を作成し、作成したプログラムを実施し評価をすることである。

研究は2段階で構成され、第1段階では、文献および先行研究から研修プログラム案を作成し内容妥当性を確保した。第2段階では、第1段階で作成した研修プログラムを、産後ケアに携わっている助産師に実施し、プロセス評価とアウトカム評価を実施した。

研修プログラムは、Knowles の成人学習理論を援用し、子育て世代包括支援事業・産後ケア事業の概要を理解し、助産師として主体的に産後ケアに取り組むことを目標とした。プログラムの内容は、先行研究を基に作成し、助産師の課題、産後の母親の支援に対するニーズを抽出し、助産師が身に着ける必要のある学習内容を中心にプログラムを構成するとともに、産後ケア事業ガイドラインより、助産師に必要とされる資質を抽出しプログラムに加えている。作成したプログラムの内容妥当性は、助産師を対象にデモンストレーションを行い、研究者および産後ケアの実践者より確認している。研修プログラムは、6名の助産師を対象に実施され、3つのテーマに沿った講義およびグループディスカッション等により、対象者相互に経験や思いを共有し、自己成長に繋げていくことを狙いとして実施されたことが具体的に説明された。

研修プログラムの評価としては、研修前後の質問紙調査と、研修1か月後のインタビュー調査を行い、対象者は産後の母子に必要な具体的な支援方法を学ぶことができたと同時に、前向きな意識や行動の変容が見られたことがデータとともに示された。さらにプログラムは自己を成長させる意欲につながり、Knowles の成人学習理論に基づく研修プログラムが効果的な学習方法であることが考察されていた。

【質疑応答】

研修プログラムの作成過程の記載が不十分であることや、研修プログラムに成人学習理論を用いた根拠についての記載が不足していることが指摘されたが、口頭で適切に説明することができていた。

【審査結果】

成人学習理論に基づき、対象者の特徴を踏まえた研修プログラムを作成し、実施・評価を行っていることから、独創性と新規性が認められ、今後の産後ケア事業の発展に寄与する研究であると判断した。

以上により、修正すべき箇所はあるが、審査基準を満たしており審査員全員一致で合格と判断した。

【修正事項】

- ・プログラムの作成過程を丁寧に記載する。
- ・成人学習者理論を用いた根拠について明確に記載する。